

取付・取扱説明書

全量流入型雨水タンク



もくじ

安全上のご注意

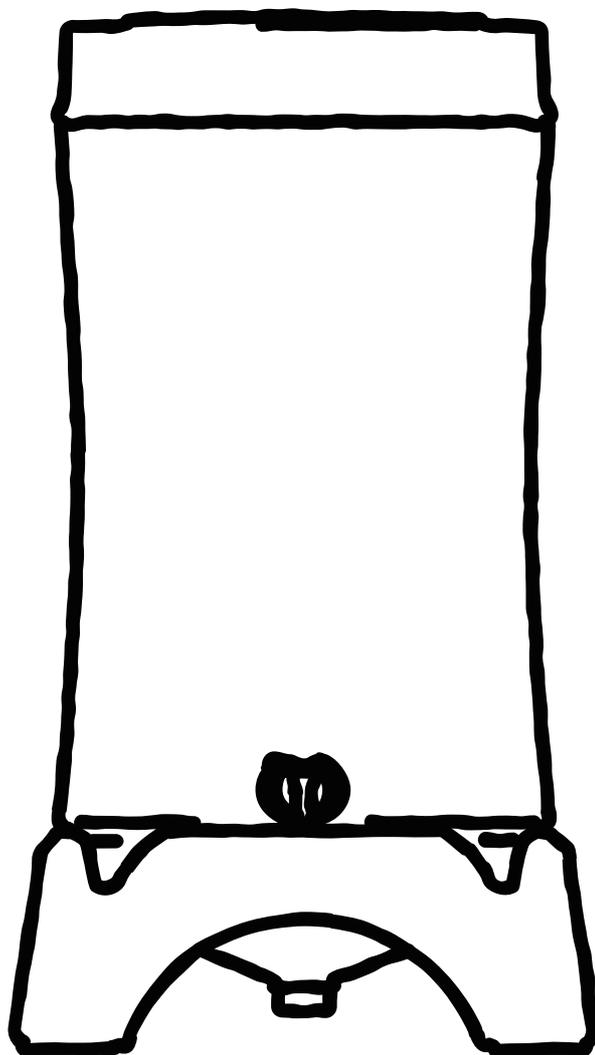
各部の名称

同梱品

取付方法

メンテナンス方法

お問い合わせ



このたびは、雨水貯留タンク【RainHarvest】をお買いあげいただき、ありがとうございます。

- 取付・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」(P.2～P.3)を必ずお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容です。



次のことをしない

- 本製品は雨水の貯留専用です。雨水以外の薬品等を貯留したり、雨水に混ぜたりしないでください。
- タンクに貯まった雨水は絶対に飲み水としてご使用しないでください。
- タンクの上や蛇口コックにのったりもたれないでください。
- タンク内に電気製品をいれて使用しないでください。
- 火元・熱源に近い場所に設置しないでください。
- 商品にシンナーや有機溶剤をつかって洗浄しないでください。
- タンクの上に物を置かないでください。



次のことを守る

- 満水時は総重量が160kg以上になります。地面の沈下などの恐れがある場合は重量に十分耐えうる場所に設置して下さい。
- タンクは水平で安定した場所に設置してください。
- 強風や落雪の影響を受けない場所に設置してください。
- 台風や強風時は転倒防止ならびに飛散しないようにしてください。
- タンクを移動させる場合は水を完全に抜いてから移動させてください。



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性、及び物損被害が想定される内容です。



次のことをしない

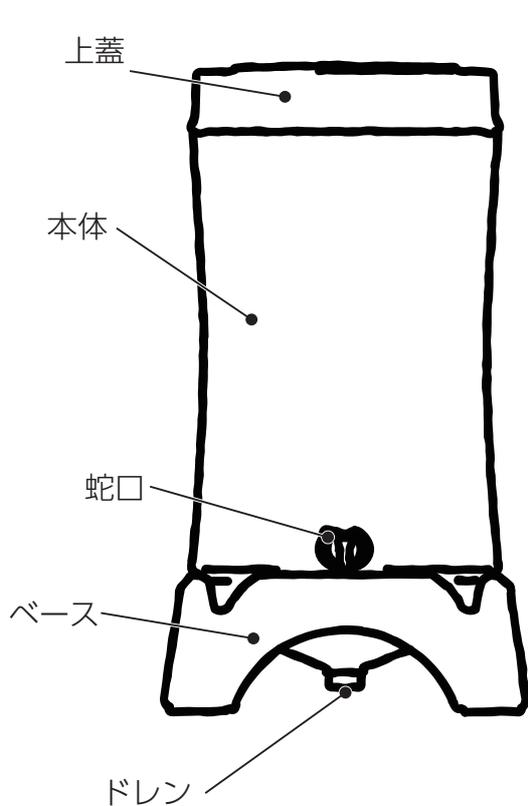
- 改造などはしないでください。
- 凍結の恐れがある時期はタンクの使用をやめ貯まった雨水を抜いて保管して下さい。



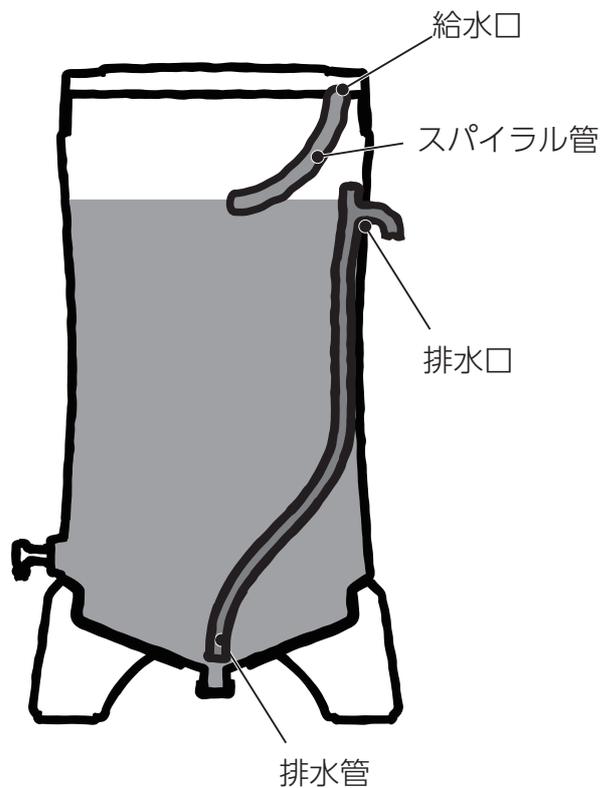
次のことを守る

- 取付の際はケガのないよう保護具(軍手など)を着用して下さい。
- 取水器フィルター・タンク本体は定期的に掃除をしてください。
- タンクは重量物(約14kg)です。運搬の際は十分にご注意下さい。

各部の名称

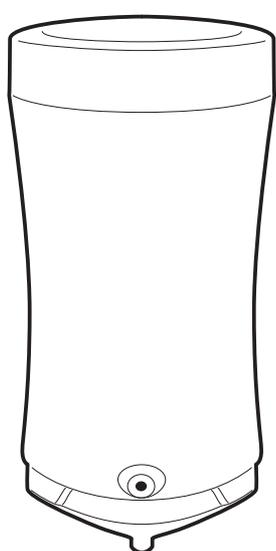


正面



横断面

同梱品



本体



取水器



蛇口



ドレンキャップ



スパイラル管



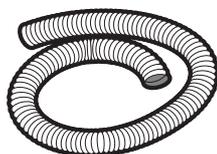
取水器用ポリ栓



グロメットパッキン(2個)



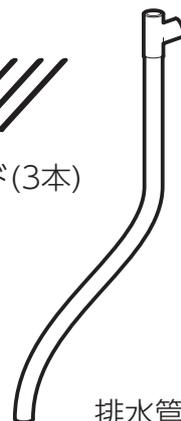
ベース



給水ホース(0.6m)
排水ホース(1.5m)



結束バンド(3本)

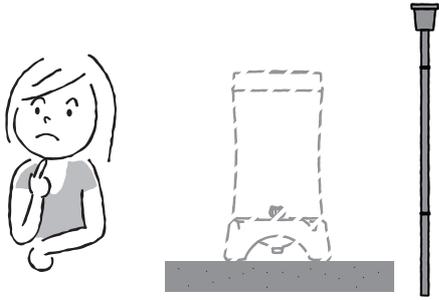


排水管

取付方法

① 設置場所を決める

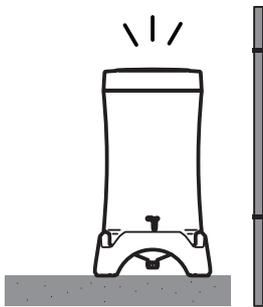
排水機能を最大限発揮するため、できるだけ集水面積(屋根面積)の多い雨どいに取り付けてください。



※平坦かつコンクリート路盤など頑丈な地盤に設置してください。

② タンクを設置する

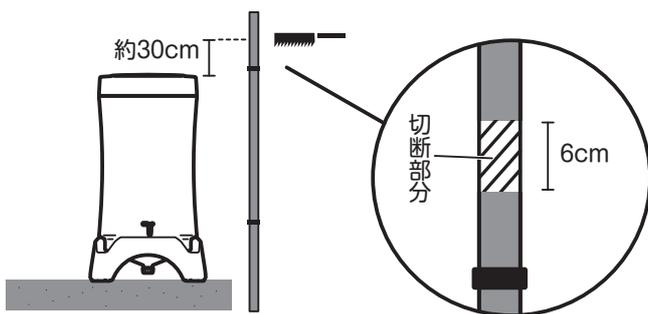
雨どいに沿ってタンクを設置します。設置面を地面に設置される場合は重さによる沈下のないようしっかり地盤を固めてください。



※50cm以上離して設置する場合は給水用の延長ホースが必要です。

③ たてといを切断する

タンクの天板から約30cm程度上部を切断し、さらに切断面から6cm上部を切断します。



④ 取水器の上フタを加工する

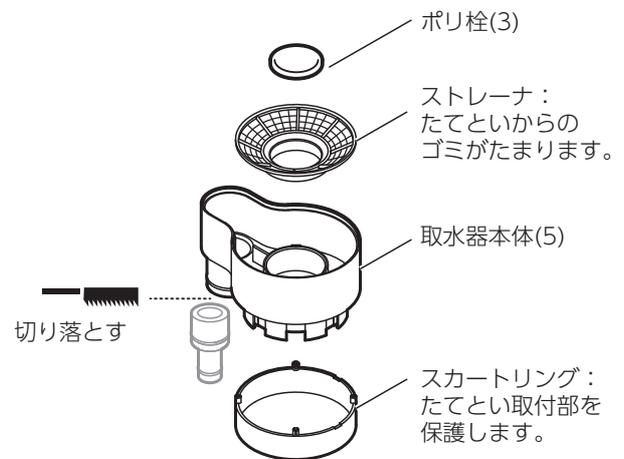
取水器の上フタをたてとい対応表(5ページ)にあわせて切断します。



※たてといの形状によっては切断が不要な場合があります。

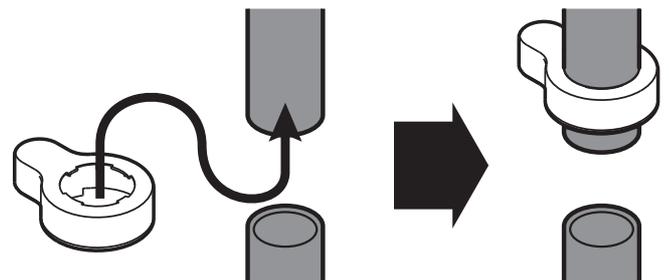
⑤ 取水器本体を組み立てる

たてといを流れる雨水を全量タンクに流し込むために栓をします。また、給水ホース接続部を下図の通り1段目を残して切り取ります。



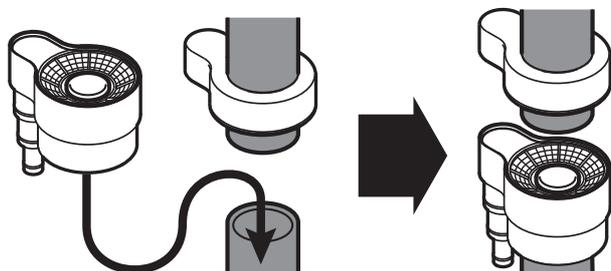
⑥ 取水器上フタをたてといに通す

④で加工した取水器上フタを③で切断したたてとい上側に通します。



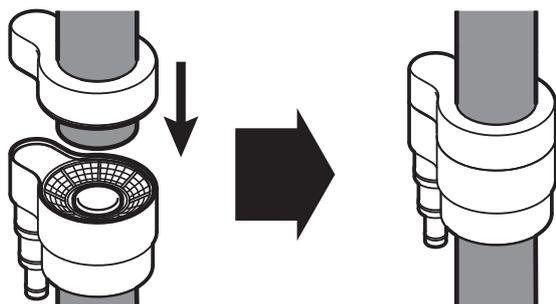
⑦ 取水器本体をたてといにはめ込む

⑤で組み立てた取水器本体を③で切断したたてとい下側にはめ込みます。



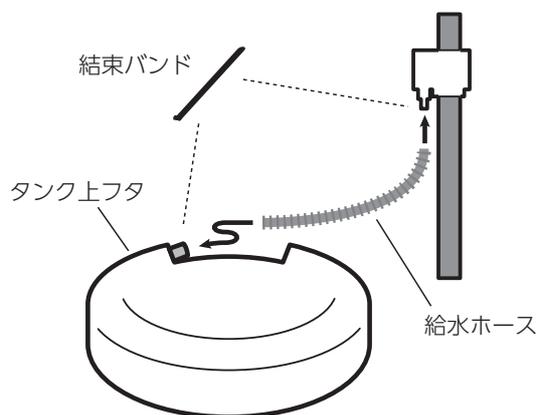
⑧ 取水器本体と上フタを接続する

たてといの上側にある取水器上フタを下げたてとい本体と接続します。



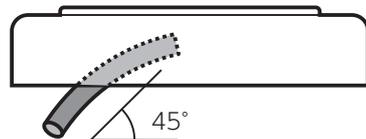
⑧ 給水ホースを接続する

タンク上フタ上部の接続口に給水パイプ(0.6m)を接続し、取水器と給水パイプを接続し結束バンドで締めます。



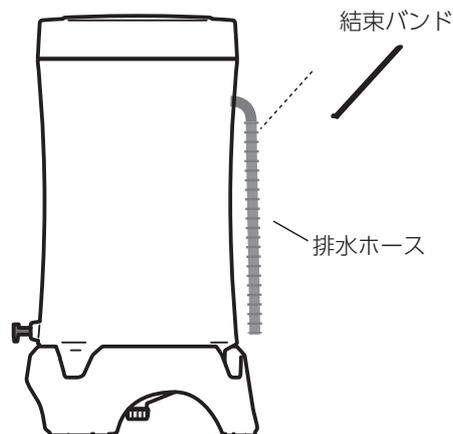
⑨ スパイラル管の角度を調整する

タンク内部に入るスパイラル管が斜め45度程度、下を向くように調整します。



⑩ 排水ホースを接続する

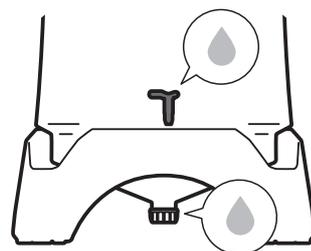
排水ホース(1.5m)をタンク背面の排水口に接続し結束バンドで締めます。



※排水ホースの先は、側溝などに排水する、雨どい下部に接続し排水する、他の容器に接続してさらに貯める、お庭に浸透させる、雨どい下部に戻す、など状況にあわせて設置してください。

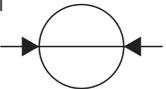
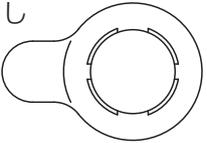
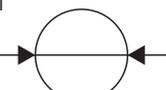
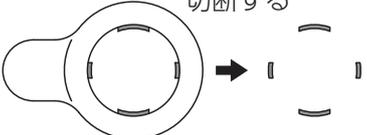
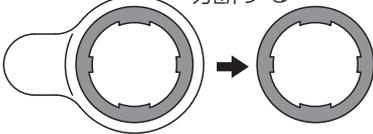
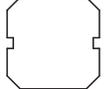
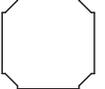
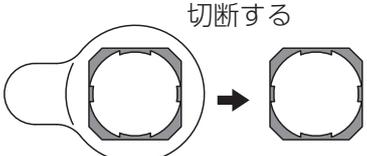
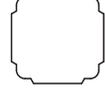
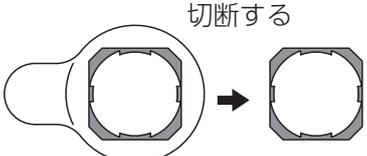
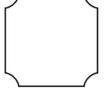
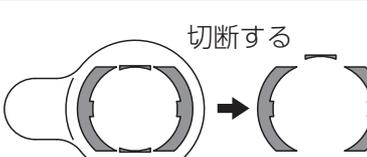
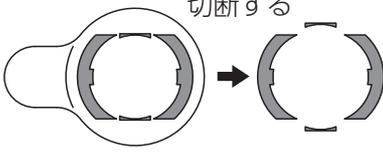
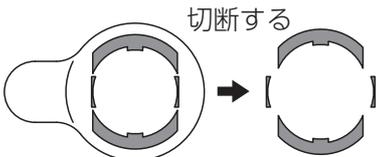
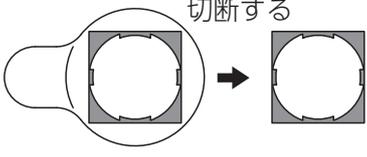
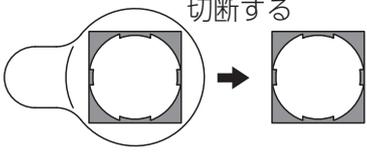
⑩ 各部の緩みを確認する

蛇口の緩み、ドレンの緩みは水漏れの原因となります。緩んでいる場合は増し締めを行ってください。



※かんたんな集水量の計算方法: 屋根面積1㎡に1時間あたり1mmの降雨があった場合、1時間あたり1ℓ貯める事ができます。たとえば集水面積が10㎡、降雨量が5mm/hの場合は1時間あたり50ℓ貯める事ができます。(蒸発などは計算外)

たてとい対応表

メーカー	たてとい形状	リブ部切断箇所
	丸たてとい 55mm 	切断なし 
	丸たてとい 60mm 	切断する 
	丸たてとい 76mm 	切断する 
パナソニック(株) 旧 パナソニック電工(株)	PC30 60×60 mm  S30 60×60 mm 	
デンカ(株) 旧 電気化学工業	F35 60×60 mm  K35 60×60 mm 	
積水化学工業(株)	Y60 60×60 mm 	
	MY60 55×75 mm 	 ●向きが選択できます。 
三菱ケミカル(株) 旧 三菱樹脂(株)	V60 60×60 mm 	
タキロン(株)	T30 60×60 mm 	

メンテナンス方法

定期的に集水器のフィルターとタンク本体の掃除を行って下さい。

掃除の頻度は設置環境や季節によって変動しますのでこまめに確認してください。

取水器の掃除方法

取水器の上蓋を上部にスライドしたまったゴミを除去してください。

頻繁にフィルターが落ち葉などで詰まってしまう場合、フィルター中央の「取水器用ポリ栓」を取りはずすことで、詰まりを改善する事ができます。ただし、タンク側への給水量が減少するため、雨水の循環効率が低下しますのでご注意ください。

タンク本体の掃除方法

タンク底部のドレンを反時計回りにまわすとドレンがはずれタンク内の水を全量排水する事ができます。

また沈殿物はホースやジョーロなどで簡単に流すことができます。3ヶ月に1度程度は底部を点検し、沈殿物がある場合は掃除をお勧めいたします。

蛇口コックの交換方法

蛇口コックはタンク内側から樹脂製のナットで挟み込んで取り付けられています。

取り外す際は、タンク内側の樹脂ナットを反時計回りにまわしてください。

お取り付けの際は、蛇口を正規の位置に向け、内側の樹脂製ナットを時計回りに締め付けてください。

緩みがあると水漏れの原因となりますのでご注意ください。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは

株式会社日盛興産 TOKILABO ～節水村～

お客様相談窓口 (受付時間平日8:00～17:00)

0770-72-5152

**ESSENTIAL
FOR SURVIVAL**

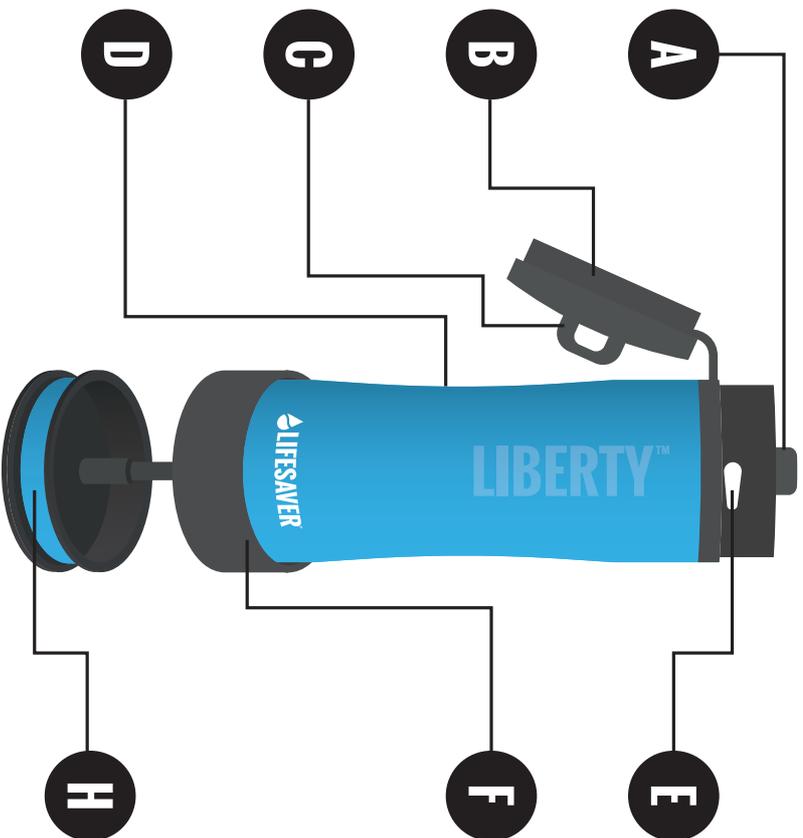
**LIFESAVER
LIBERTY™
取扱説明書**



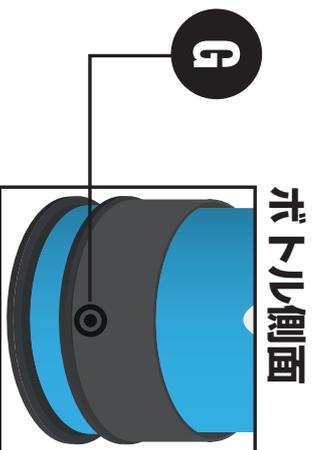
SLI0033

 **LIFESAVER®**

YOUR LIFESAVER LIBERTY™ BOTTLEの各部の名称



- ① 飲み口
- ② 防水蓋
- ③ カラビナ用クリップ
- ④ 水位確認窓
- ⑤ 通水バルブ
- ⑥ 脱着式ベース
- ⑦ スカベンジャーホース取付口
- ⑧ ポンプハンドル (回転固定式)

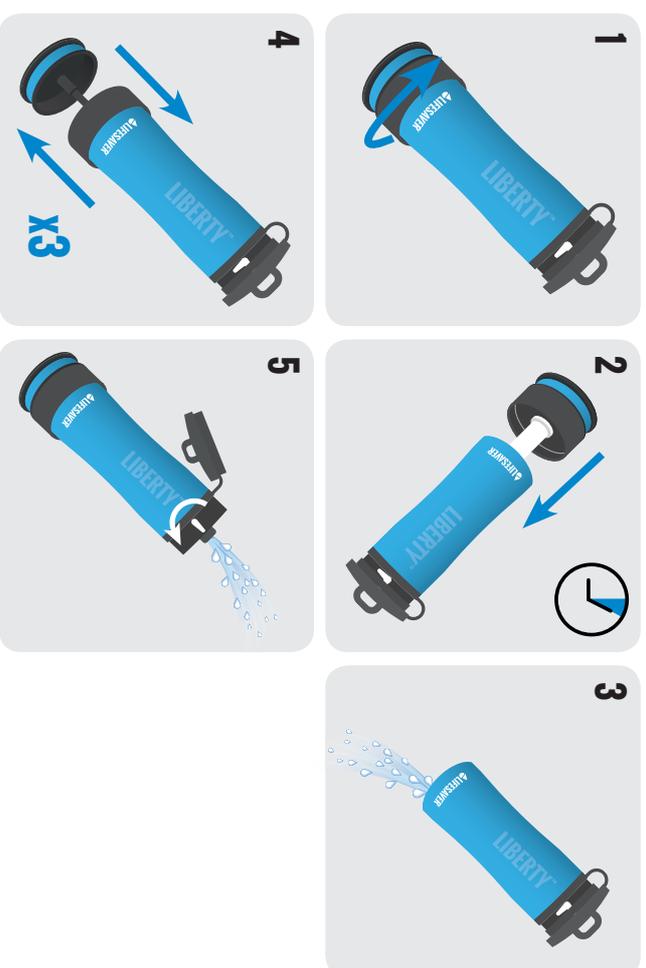


プライミング

プライミングは重要な手順です。
本製品を飲料用として使用前に必ず行ってください。

正しくプライミングを行うことにより使用する際の流量効率が高まります。

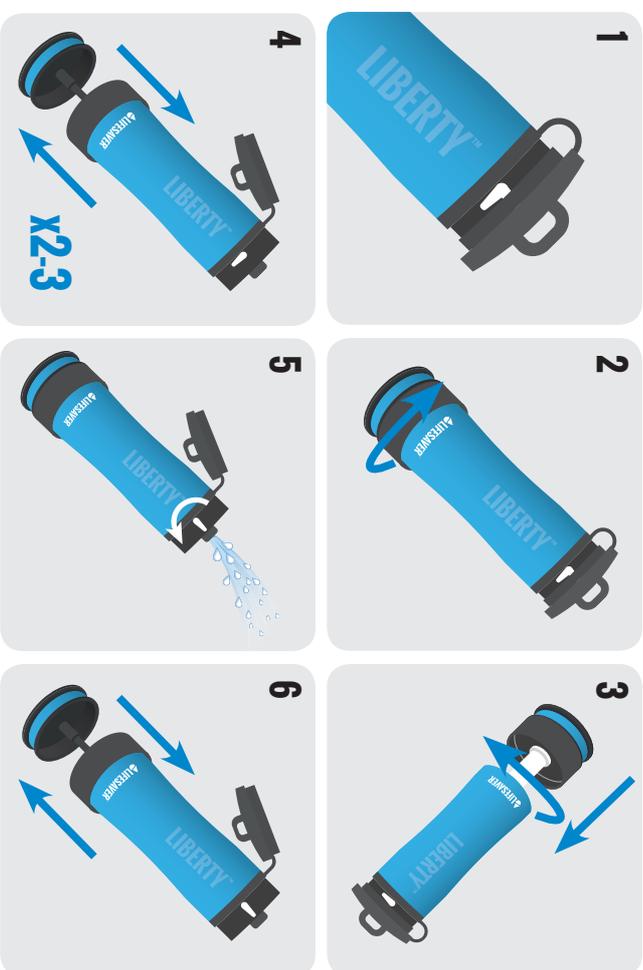
Watch video or follow the instructions below.



1. 脱着式ベース ⑥を取り外し、満水になるまできれいな水を入れます。
2. 脱着式ベース ⑥を取り付け、満水のままの状態です。
3. 脱着式ベース ⑥を取り外し、水を捨てます。
4. 満水になるまできれいな水を入れ、脱着式ベース ⑥を取り付け、3回ポンプハンドル ⑧をポンプします。
5. 防水蓋 ②を開け、通水バルブ ⑤を回し、飲み口 ①から排水します。
6. 流量を一定にしながら本製品から全ての水が排出されるまで、ポンプハンドル ⑧を数回ポンプします。
7. 4,5,6のステップを3回繰り返します。
8. これでLifeSaver® Liberty™を使用する準備が整いました。

ボトルモードでの 使用方法

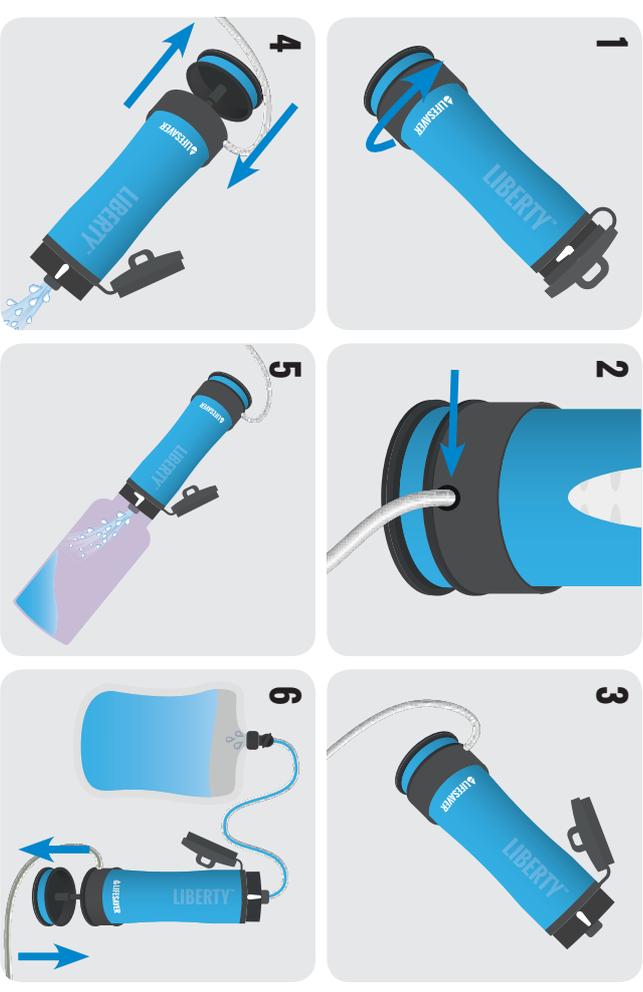
Watch video or follow the instructions below.



1. 飲み口が汚れるのを防ぐため、防水蓋 **B** が完全に閉まっていることを確認してください。
2. 脱着式ペーナス **F** を取り外し、水を入れます。
3. 脱着式ペーナス **F** を取り付け、しっかりと固定されていることを確認します。
4. 防水蓋 **B** を開け、2~3回ポンプハンドル **H** をポンプします。
5. 通水バルブ **E** を回すと、きれいな水が流れ始めます。
6. 流量を維持するために、必要に応じてポンプハンドル **H** をポンプします。

インラインポンプモードでの 使用方法

Watch video or follow the instructions below.



1. 満水になるまで水を入れます (必須ではありませんが、水の流れが良くなります)。
2. スカベンジャーホースを取付口 **G** にセットし、フローバルブの端を水源に入れます。
3. 防水蓋 **B** を開き、通水バルブ **E** を回して開けます。
4. 水が流れるよう連続的にポンプハンドル **H** をゆっくりポンプします。
5. 広口サイズの容器であれば、図のように本製品の上部に直接接続することができます。
6. ハイドレーション・グラダー・コネクター (別売) を飲み口に接続して、CamelBak®などの外付け容器に水を溜めることができます。

注意： 本製品は圧力容器です

効果的に流量を得るには、ポンプハンドルをポンプするのは5回以内で十分です。

水の流れをよくするためにさらにポンプハンドルをポンプする場合は、追加でポンプする必要があるかを確認するため、必ず通水バルブを開けて行ってください。

ポンプハンドルを通常より多くポンプする必要がある場合、本製品を清掃する必要がある可能性があります。または、カートリッジの寿命が近い可能性があります。

本製品から水が出ない場合は、**絶対にそれ以上ポンプしないでください。**

これは製品に過度な圧力が加わることになり、その結果として、製品に過度の負荷がかかることになります。

本製品内部の圧力を下げるには、脱着式ベースをシュエツという音が聞こえるまで1/4回転させて緩めます。

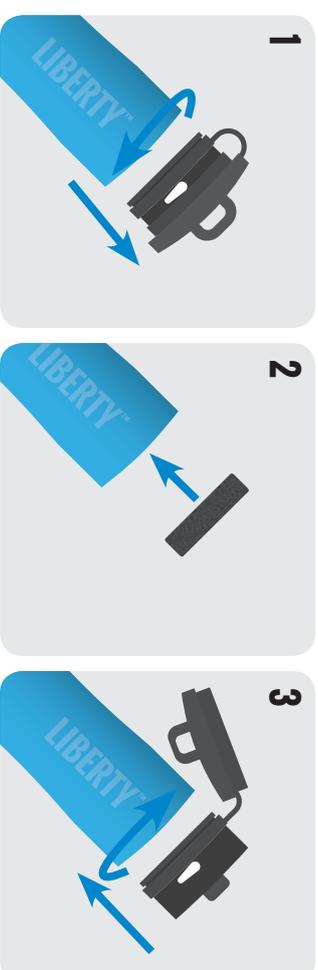
フラインミング済みのカートリッジの膜は常に保湿する必要があります。この為に製品内に常に1センチの以上の水を残し、ポンプハンドルと通水バルブを締め、密閉して下さい。

これを行わない場合、膜が乾燥して穴が閉じ、飲み口から水が出なくなり、この場合は保証の対象外であり、新規にカートリッジの購入が必要となります。

製品に水が入っていない状態では、**絶対にポンプハンドルをポンプしないでください。**

活性炭フィルターの 交換

Watch video or follow the instructions below.



1. 製品内の圧力を下げ、水を空にします。防水蓋を取り付けたまま凹凸がある部分だけを反時計回りに回して、飲み口が装着されている外側シリンダーを外します。（蓋を回して上にあげると蓋は外れてしまいますが、上にあげずそのまま反時計回りに回すと黒い部分が外れます）
2. その下に活性炭フィルターの収納部が見えます。古い活性炭フィルターを取り出して新しい活性炭フィルターと交換します。新しく交換したフィルターは正しい位置に置いて、少し押し込んで下さい。
3. 飲み口が装着されている外側シリンダーを時計方向に回して、製品本体に装着して下さい。その際、防水蓋と外側シリンダーを接続しているゴムの部分が正しい位置に設置されている事を確認して下さい。

Note: 製品の中に活性炭フィルターを設置したまま長期保管すると、微生物が増殖する可能性があります。これはボトル本体から発生したものでなく、ユーザーの唾液から発生する可能性があります。

LifeSaver Liberty™を長期間保管する際には、必ず活性炭フィルターを取り外して廃棄して下さい。

メンテナンスと お手入れ

塵や砂、その他の摩擦させる異物が製品内に入らないようにしてください。もしこのような異物が入った場合は、すすいで取り除いてください。製品に摩擦させる異物が残っていると、密閉部品が早く摩擦し、本製品から水が漏れるようになります。

屋外での 本製品の洗浄方法

脱着式ベースを取り外し、なるべく汚濁の少ない水を製品内に半分まで入れ、脱着式ベースを元の位置に取り付けて下さい。
製品内部の水がゆっくりと回るように振り、フィルター表面と製品内部の外壁に水がかかるようにして下さい。
脱着式ベースを緩めて外し、内部の水を捨てます。捨てた水がきれいになるまで必要に応じてこれを繰り返します。

屋内での 本製品の洗浄方法

本製品からフィルターを取り出し、付属品しているフラスシユキヤツプを綺麗に洗ってからフィルターの鉛色の面にはめ込みます。
フィルターを洗面器等に入れた温水に30分間程度浸します。
この際に、フィルター表面または洗面器の病原菌を殺菌するため、少量の消毒液を加えることを推奨します。
タワレット状の塩素を溶かしたものの、または液体消毒液が効果的です（薄め方は製造メーカーの取扱説明書に従ってください）。
きれいな水でフィルターを洗い流し、フラスシユキヤツプを外して本製品に再びはめ込みます。
フィルターを除くすべてのフラスシユキ部品は通常の洗剤と温水で洗浄できますが、洗浄後はすべての部品をしっかりとすすぎ、乾燥させてください。

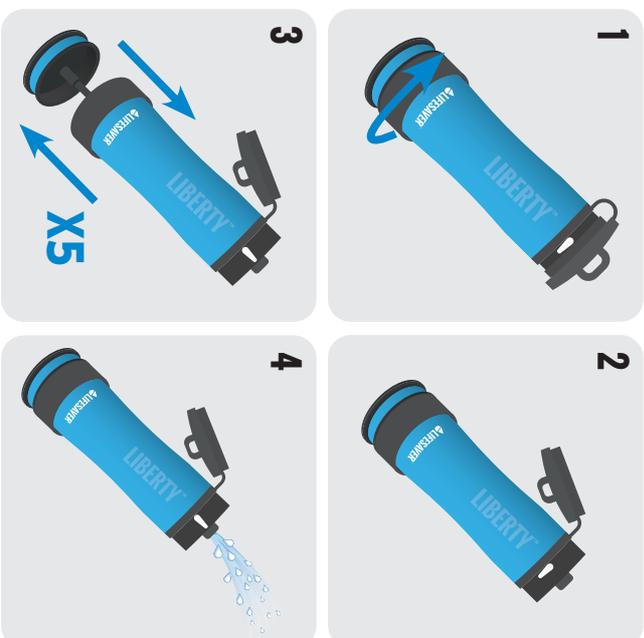
フィルターカートリッジの 取り外しと装着方法

フィルターカートリッジの取り外しまたは装着は、本製品の上部でフィルターカートリッジを回すだけで行えます。
フィルターの下部にある小さな突起部を使用すると、簡単にフィルターを回転させる事ができます。
装着する場合は時計回り、取り外す場合は反時計回りに回します。

フィルターが正常に動作しているかを 確認する方法

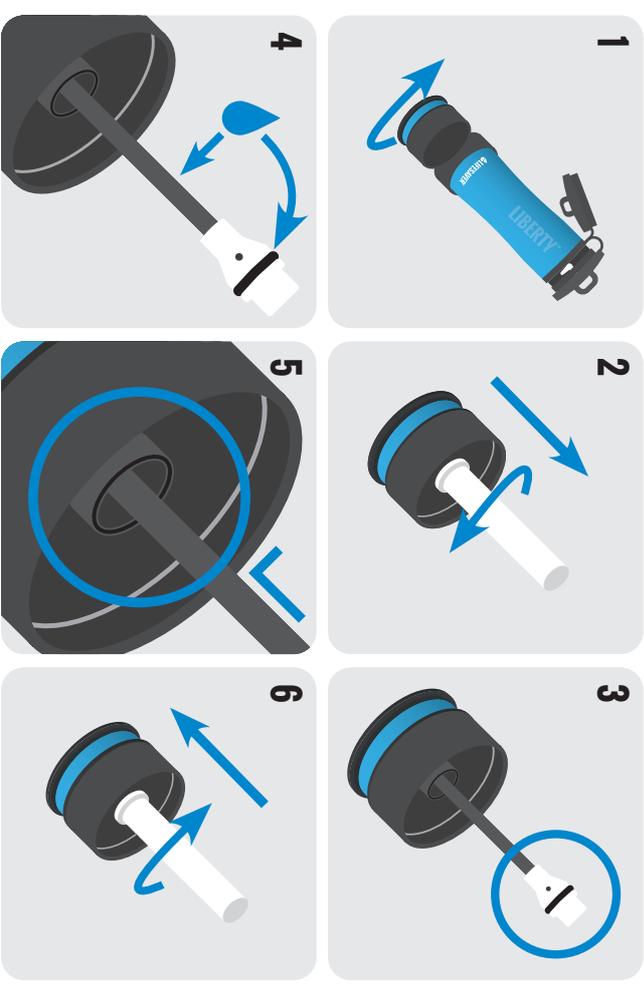
本製品に衝撃を与えたり、フィルターに異物を入れたりしないでください。
超濾過膜は非常に堅牢であり、長期間の使用が可能となるよう設計されています。
しかしながら、落下や衝突などによって通常以上の高い衝撃荷重を受けた場合、カートリッジは破損しやすくなります。
本製品が衝撃を受けた場合、または本製品に損傷が生じていると思われるときは、必ず膜の状態の確認を行ってください。

膜の状態の 確認



1. 脱着式ベース **F** を緩め、本製品から取り外し、半分まで水を入れます。
2. 本製品をシンクや排水溝などの排水設備のある場所で、飲み口が上に、ポンプハンドルが下になるようにして保持します。
3. 流量開閉バルブ **F** を開け、最大5回ポンプハンドルを押します。
4. 水が飲み口から流れてきます。水の出が悪くなったら、再び5回ポンプハンドルを押し、本製品を垂直にしたまま本製品から完全に水を抜いてください。
5. 飲み口から断続的に水が噴き出す、シューという音がする、泡が出てくる、などの現象がある場合は、飲み口から水と共に空気が排出されています。この場合、カートリッジに損傷が発生しています。本製品の使用をただちに停止し、カートリッジを交換してください。

ハイブリッドポンプシステムの メンテナンス



- 時間の経過と共に、ポンプハンドルの動きが硬くなる場合があります。ポンプをメンテナンスするには：
1. 脱着式ベースを緩めて本製品から取り外し、完全に水を抜きます。
 2. 片手にポンプチューブを持ち、もう片方の手で脱着式ベースを緩め、ポンプチューブを引き抜いて外します。
 3. ポンプシャフトのオリングとポンプチューブからゴミや古くなったグリースを取り除きます。オリングに磨耗がないか確認し、必要に応じて交換します。
 4. 黒いポンプシャフトの上部にある、黒いポンプ棒とオリングの周囲に少量のシリコングリースを塗布します。
 5. ポンプチューブベースのオリングが、ポンプチューブの正しい位置に装着されていることを確認します。
 6. ポンプシャフトの上的位置にポンプチューブを合わせ、脱着式ベースに付け直します。この時に、締めすぎないようご注意ください。

保管方法

ご使用になる前は、本製品に直射日光が当たるのを避けて乾燥した場所で保管してください。

使用開始後は、極端に高い温度や低い温度にさらさないでください。

本製品内に常に1センチ以上の水を残してカートリッジの膜を保湿し、ポンプハンドル、通水バルブ、防水蓋をしっかりと開けて本製品を密閉してください。

この保湿をしないと膜が乾燥し、濾過システムが機能しなくなり、飲み口から水が出なくなりえます。

水は劣化するので、本製品内の水は定期的に取り換えてください。

使用していない時は、できるだけ5～20℃の涼しい、乾燥した場所で保管してください。

活性炭 フィルター

純正のポリエチレン包装に密封された活性炭フィルターは、保管条件にもよりますが、製造日から約3年間保管することができます。

活性炭フィルターの包装を開封した場合、ポリエチレン包装に密封された予備の活性炭フィルターを保管してください。

これにより最長3年間保管することができます。

開封状態では、活性炭フィルターは最長2ヶ月で使用できなくなります。

炭素は天然の吸収体のため、開封状態では周囲の空気から汚染物質を吸収します。

本製品を1ヶ月以上保管する場合には、活性炭フィルターを取り除き、廃棄してください。

次回使用する際に、新しい活性炭フィルターと交換してください。

保管期間

標準包装品：

本製品が未使用の場合は、（認証小売店からの）購買日から最低3年保管することができます。3年以上の保管期間は保管環境に依存します。

アルミホイル包装品：

アルミホイルで包装された製品は、高い保湿性能を持っており長期間保管できます。購入時の密閉状態のままであれば、保管期間は製造日から最長10年間になります。

LIFESAVER® LIBERTYを 飛行機に持ち込む場合

飛行機に持ちこむ場合は、脱着式ペースを1/4回転ゆっくり回して緩め、本製品から圧力を抜きます。

この際しっかりと持ちながら脱着式ペースを緩めます。

本製品の中には最小限の水（1cm）を入れて、衝撃が加わらないようにしっかりと梱包して手荷物内に入れてください。

FAILSAFE™テクノロジー

本製品はFAILSAFE™テクノロジーを採用しています。カートリッジの交換またはクリーニング時期が近づくと、自動的に以下のようにして知らせます。

カートリッジの寿命が近づくと、膜の穴が汚染物質で塞がります。

この場合、フィルターは水を通さなくなるため、フィルターが機能していないことがすぐに分かります。

この時点で、カートリッジを交換またはクリーニングしてください。

カートリッジの寿命が近づくと、水を流すためのポンプハンドルを押し回数が増えます。

最終的には、推奨の最大回数ポンプハンドルを押ししても、水が流れなくなります。この時点で、カートリッジを交換してください。

性能および 技術データ

最低作動/保管温度

最高作動/保管温度

初期流量**

濾過総水量**

カートリッジを含む乾燥重量 約425g

ボトル容量 400ml

製品原料と流出される水は、BPAおよびBPSを含みません。

0℃以上

50℃以下

1.2L/分 @ 1.0 Bar (g)

2000L

微生物 濾過率

微生物浄化に関するEPAガイドライン以上：

細菌低減率****

ウイルス低減率****

シスト低減率****

>99.99999% (Log 6)

>99.9999% (Log 5)

>99.999% (Log 4)

LIFESAVER® コンプレックス

検査は、NSF/ANSI P231の基準に全て適合しています。

これらのユニットは、標準使用の範囲を超える濾過能力を試験するため、模擬下水であるChallenge Test Water- type3を含む、2種類の水を使って検査しています。

オゾン活性炭フィルターは、塩素や臭味を除去し、水の味と臭いを改善します。

* 使用を開始した製品は、凍結させないでください。

** 注入する水の組成と濁度により、流水効率と濾過総水量は変動します。

*** 2017年5月20日発行のBCS研究所による検査で、NSF/ANSI P231プロトコルを全て満たしています。

免責事項

本文書に掲載された情報およびデータは、当社の一般的な経験に基づくもので、正しいものとされます。

当社はこれらの情報を誠意を持って、当社の製品の選択・使用の指針となるよう提供しています。

当社製品が使用される条件は当社の管理の範囲外のため、この情報は最終的な製品の性能を保証するものではなく、当社は当社製品の使用に関する責任を一切負いません。

当社製品の品質は、販売条件により保証されています。

既存の工業所有権は順守されなければなりません。

本取扱説明書に掲載されたすべての詳細は、印刷時点で正しいとみなされます。

当社はここに記載された製品に改良・変更を加える権利を有します。

© 2017 Icon Lifesaver Ltd. は全ての権利を留保します。特許・意匠は出願中または登録取得済みです。LifeSaver® は登録商標です。

主要お問い合わせ先

ホームページ: www.iconlifesaver.com

Eメール: info@iconlifesaver.com

北米電話連絡先:

844-LIFSAVER (543-7837)

その他地域電話連絡先:

+44 (0) 1206 580 999